

8. 儒教と朱子学

○儒教…開祖は孔子。4-5世紀ごろ伝来。政治思想に影響を与える

□藤原惺窩[1561-1619]近世儒学の祖。もとは僧侶だったが、儒教に魅せられ還俗。家康に儒学を説き、江戸時代を通じての幕府の正式の学問(官学)となった。

○朱子学…開祖は朱子(朱熹)。儒教の一派で、宋代に大成。日本では官学として江戸幕府が採用

[朱子学・再確認] ・理気二元論／・性即理／・居敬／・窮理／・格物致知

□林羅山[1583-1657]惺窩の弟子。家康から家綱の4代に仕え、朱子学の官学化の礎を築く。死後、林家は代々幕府に重用され、1690年には私塾が移されて湯島聖堂学問所となり、のちに幕府公式の学問所として昌平坂学問所(昌平黌)となった。

[著書]『春鑑抄』『三徳抄』

〈教義〉

- ・上下定分の理…君主と臣下という関係は、天や地の道理と同じように定まっている
「天は尊く地は卑し、天は高く地は低し、上下差別あるごとく、
人にもまた君は尊く、臣は卑しきぞ」林羅山『春鑑抄』
- ・存心持敬…常に心の中に敬を持つことを心がけ、上下定分の理を身をもって体現する
- ・敬…私利私欲を戒め「うやまう」ではなく「つつしむ」の意
- ・天人合一…本来の自己に帰る→心が天と通じる⇒自己と天(万物を貫く理(天理))が合一

○各地の朱子学者…

〈京学〉…藤原惺窩からの師弟関係 (★は、大名などに仕えていることを示す。)

木下順庵		新井・室・雨森など、多くの弟子を育てる
新井白石	幕府★	幕政に参加し、文治主義を進める。鎖国下でも西洋の様子を理解するために、シドッチに尋問し『西洋記聞』を著す。
室鳩巢	加賀★	白石失脚後吉宗に仕え、古学流行の中でも朱子学の立場を堅持する。
雨森芳洲	対馬★	朝鮮語に通じ、朝鮮との善隣友好外交に努力した。(朝鮮通信使の接待など)
貝原益軒	筑前	朱子学者であり本草学(薬物学)者。窮理の精神に基づき、合理的・批判的な態度で実証主義的思想を育てる。

〈南学〉…南村梅軒からの師弟関係

南村梅軒	土佐	南学(土佐南学)の祖。
山崎闇斎	京都	朱子学・神道学者。儒教と神道を統合した垂加神道を形成した。(第十講で詳説)
佐藤直方		闇斎の弟子。朱子学者。朱子学よりも神道に傾倒した闇斎を批判し、破門。

センター問題に挑戦! No.8 (2008年本試) [や易]

精神修養を重んじた思想家の山崎闇斎に関する説明として、最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 上下定分の理を具体化した礼儀法度の厳守を説いて、徳川幕藩体制の身分制度の確立に貢献した。
- ② 居敬窮理の厳格な実践を説き、のちに儒教の理と日本の神とを結合させた独自の神道説を唱えた。
- ③ 商人の職分の意義を説き、常に正直と儉約の心で商売に懸命に励むなら、利潤追求も正当な営みとなると唱えた。
- ④ 一君万民を唱えることによって、幕藩体制に一石を投じ、私を滅して忠を尽くすべきことを説いた。

[No.7の答] ① ②×リアルで忠実 ③×豪奢で華麗 ④×浄土の姿や仏の救い